

23.特色ある議会施設・運営の事例

(平成22年1月1日～12月31日、73市)

都道府県	市区名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
北海道	帯広市	C	●議会インターネット中継の導入(生中継・録画配信)
北海道	稚内市	A	●新年度予算に関する一問一答方式の総括質問を行っている
北海道	美唄市	A	●議会報告会の実施
北海道	士別市	A	●正副議長を選出に当たり全員協議会を議場で開催し、候補者が所信表明を行った。なお、立候補制の導入については、今後検討予定
宮城県	石巻市	C	●映画館を改装した議場(被災により現在使用不能)
山形県	米沢市	B	●伝統産業である「米沢織り」の振興に寄与するため、3月定例会の初日は、本会議出席者全員(消防長を除く)が着物を着て本会議を行う「きもの議会」を開催している
山形県	上山市	A	●市政に対する市民の関心を高めると共に、議会の活性化の一方策として平成10年から本会議(一般質問)1日をサンデー議会として開催している。開催は例年9月定例会において実施
山形県	長井市	A	●あやめ公園の開園100周年を記念して、6月議会をアヤマ議会とし長井古種などアヤマ18鉢を議場に飾った
福島県	伊達市	B	●「ニット議会」の開催。地場産業の活性化を支援するため、本会議への出席者全員がニット製品(カーディガン)を着用し、議会を開催。(12月議会)
新潟県	村上市	B	●支所(合併前の旧町村庁舎)議場で常任委員会の開催(年2回、6月、12月定例会)
石川県	かほく市	A	●ケーブルテレビを活用した、議会本会議の生中継及び録画中継を行っている。(インターネットを活用した録画配信も併せて行っている。ケーブルテレビの自主放送番組として、常任委員会視察研修の報告を、議員自ら撮影・編集して放映した。また、視察受入の様子はニュース形式に編集して放映した
福井県	小浜市	A	●ローコスト版インターネット録画配信の実施
長野県	松本市	D	●当初予算説明会＝2月定例会招集日の翌日から3日間の日程で開催し、財政課長等から詳細説明を受け、質疑の機会を設けている。●移動委員会＝地域住民に関わりが深く、かつ関心が高い事案については、必要に応じて当該地域で委員会を開催。●請願・陳情者趣旨説明＝請願・陳情者が希望する場合に、審査の際に趣旨説明を行う機会を設けている。(説明時間は概ね5分間、説明後、質疑を行う)●委員会審査状況等のCATV報告＝地元ケーブルテレビの番組で、毎定例会後に委員会の審査状況や議会活動の報告を行っている。(60分番組)●議会子ども控室＝市民に開かれた議会を目指し、議会を傍聴する子連れ等の保護者等のために2000年12月定例会から開設。＝利用対象:1歳以上就学前の子ども＝事前予約をいただき保育士を手配＝赤ちゃん用ベッド、遊具、絵本などを配備＝※予約のない場合は、一般傍聴者控室・議員面談室として利用●各種団体との意見交換会の実施
長野県	飯田市	C	●議会による行政評価(行政評価による執行部への施策・事務事業に対する提言)●議員定数削減に伴い、複数常任委員会制度の導入
長野県	須坂市	B	●常任委員会の行政視察報告会の実施
東京都	立川市	C	●市庁舎移転に伴い押しボタン式投票システムを導入し、賛否を明確にした●一般質問において、一括質問一括答弁方式と一問一答方式のどちらかを選択できるようにした
東京都	福生市	B	●インターネット議会中継●音声反訳議事録作成システム
東京都	千代田区	A	●議案の審議結果を各議員ごとにスクリーン表示し、その結果を議会だよりやホームページで公表している。●本会議場の議員及び理事者席を可動・収納式にすることにより、対面式による代表・一般質問や講演等に利用できるよう整備している

都道府県	市区名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
東京都	港区	D	●議場が、区立小学校3年生全員の社会科見学の間とされ、事務局職員が案内し説明を行っている
東京都	杉並区	G	●本会議・委員会開催時の託児 ●土曜議会の開催(一定、二定、四定) ●本会議・決算特別委員会インターネット録画中継
神奈川県	川崎市	H	●24.議会改革の取り組み事例と同じ
茨城県	取手市	C	●議会eメールマガジンの発信。●議事録作成支援システムによる会議録・委員会記録の作成。●低コストの議会映像インターネット配信。●押しボタン方式による電子表決及び採決表示システム
茨城県	つくばみらい市	A	●小中学生の市議会傍聴の促進
栃木県	宇都宮市	G	●議場ジャズコンサートの開催(平成22年6月)
群馬県	前橋市	E	●毎年、第4回定例会(12月)の初日と最終日に議場コンサートを開催している
埼玉県	さいたま市	H	●傍聴者等への配慮のため、議場内スクリーン設置による代表・一般質問映像の提供
埼玉県	東松山市	B	●市政に対する一般質問において大項目方式を採用している
埼玉県	越谷市	E	●27.子ども議会、女性議会、模擬議会の開催事例の項参照
千葉県	千葉市	H	●代表質問・一般質問でのプロジェクターの利用 ●立候補制による正副議長選考会の実施
千葉県	成田市	C	●定例会最終日に、議場において議場コンサートを開催
千葉県	東金市	B	●本会議における議案質疑について通告制とする ●議案配布・議案説明会(議員全員協議会)を開会日一週間前までに開催する(質疑有) ●開会日において、市長提出理由の説明の後に、担当部長による補足説明を行う
千葉県	柏市	E	●本会議場への追尾システム、大型スクリーン、大型モニター、プロジェクター、書画カメラ、押しボタン式投票システムの導入
千葉県	流山市	C	●議会報告会の実施(5月、11月) ●議会費に対する議員による予算要望のとりまとめ(9月～10月) ●スマートフォンによる電子採決システムの導入(9月～) ●委員会審査における自由討議の実施(9月、12月)
千葉県	富津市	A	●市民の議会の傍聴機会の拡大を図り、「市民に開かれた議会」「親しまれる議会」を目指すため、議場コンサートを開催(平成22年3月議会から各会期毎に開催)
愛知県	瀬戸市	C	●インターネット中継(生中継・録画配信)とは別に、ケーブルTV・コミュニティFMにおいて議会情報の提供を行っている
愛知県	豊田市	F	●市長、教育長、上下水道局事業管理者及び代表監査委員は、議員提出議案に関し確認したい事項があるとき、確認の機会の付与を議長に申し出ることができることとなっている
愛知県	高浜市	A	●本会議映像を録画したDVDの貸し出しを引き続き実施(平成20年～)
三重県	津市	D	●2010年第1回(3月)定例会から、質問者席が設置されたことに伴い、本格的に対面方式を導入した
三重県	四日市市	E	●市民との意見交換会「シティ・ミーティング」の実施 = (共通テーマを「より活力のある四日市にするために、議員に期待すること」とし、以下に記載のとおり各回に個別テーマを設定して3回実施) = ①2010年10月30日「公共交通の利便性について」 = ②2010年11月4日「救急医療体制について」 = ③2010年11月13日「市民の生活ごみについて」
三重県	伊勢市	C	●本会議における一問一答制、60分の時間制限

都道府県	市区名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
三重県	鳥羽市	A	●ツイッターを利用した議会予定等の情報発信●ユーストリームを利用した本会議、常任委員会等の中継及び録画配信の実施
岐阜県	岐阜市	F	●インターネットによる本会議の生中継、録画中継の実施及び、録画したDVDの貸出し、視聴、複写を行っている
大阪府	堺市	H	●円形型の議場●傍聴席に親子室を設置
大阪府	岸和田市	D	●視察報告会の実施
大阪府	大東市	C	●市民に議会報告を行い、意見や提言を受ける場として出前議会報告会を開催。●本会議開会前に「市民憲章」を唱和。昭和46年に制定された「市民憲章」を今一度噛みしめ、実践していこうと毎定例会の本会議初日の開会前に全員(理事者も含む)で唱和している
大阪府	箕面市	C	●可動式演壇の導入
大阪府	阪南市	B	●平成21年3月定例会より、庁内LANを使って職員向けに本会議及び委員会の議会音声ライブ配信を実施してきましたが、平成22年3月から各会派室に設置しているパソコンにおいても議会音声ライブ配信を傍聴出来るようにしました
京都府	福知山市	B	●委員会における請願審査にあたり、請願者から申し出があれば趣旨説明をする機会を設けて、委員も説明に対する質疑ができる運用を行っている(委員協議会の形で開催している)
京都府	舞鶴市	B	●本会議のライブ中継(市役所本庁、出先機関数カ所にテレビ中継)、録画中継(インターネット配信)
滋賀県	栗東市	B	●聴覚障がいの方が本会議を傍聴できるよう手話通訳者を派遣●市議会の情報をまとめた冊子(市議会のしくみ)を作成し、本会議・委員会の傍聴受付にて配布
滋賀県	長浜市	C	●小学生が社会科授業の一環として本会議を傍聴した
兵庫県	西宮市	F	●3月定例会において、地方自治法第252条の34第1項の規定より、包括外部監査人に、包括外部監査結果報告の説明を求める議決を行った。包括外部監査人に本会議に出席していただいて説明を受け、質疑も行った
兵庫県	伊丹市	C	●開かれた議会にするため、議場コンサートを開催(平成13年第1回定例会より、毎年第1回定例会の第1日に議場コンサートを開催している)●9月定例会招集日に、鳴く虫コンサートを開催(平成21年第3回定例会より毎年)●議場の傍聴席への階段に、着座式階段昇降機を設置し、階段の昇降に支障のある傍聴者にも安全に傍聴してもらえるようにした
兵庫県	小野市	A	●傍聴者休憩室の設置
奈良県	生駒市	C	●本会議の傍聴については、傍聴規則に基づき、一般傍聴者48席、報道関係者13席を定員とするが、その定員を超えた場合、モニターによる間接傍聴用の63席を別室に用意する●委員会の傍聴については、音声による間接傍聴用に63席を別室に用意する●議案書と資料を傍聴者に貸与●委員会の資料は、理事者の許可があれば、傍聴者に配布する●議事堂ロビーで、市民が描いた絵画の展示を常設●記者クラブ室への本会議のモニター中継●常任・特別委員会、全員協議会、議案説明会の傍聴定員を定数12席に加え、理事者席の空席を傍聴席として、可能な限り直接傍聴を認める(ただし、百条調査に基づく特別委員会は認めていない)●一般質問の一括質問方式と一問一答方式の選択制●委員会会議録速報版(校閲前原稿)を議会ホームページで公開●議会改革に関する検討会・検討部会●郵送による陳情書・要望書・要請書等のコピーを図書室に配架●常任委員会と特別委員会において、委員外議員は通告なしで自由に発言できる
岡山県	総社市	B	●市長と対面する位置に質問席を設置した。初回から一問一答を行うことで簡潔な質問・答弁となり、聞く側にとってわかりやすくなった。カメラを3台設置し、対面する質問者・答弁者の表情が見えるよう議場正面に巨大モニターを設置した
広島県	庄原市	A	●押しボタン式決法における個別の賛否を議場内のモニターに表示(平成22年6月議会から実施)
広島県	大竹市	A	●政策立案能力の向上を目指して、安心安全対策特別委員会で再編交付金の使途について協議をした。具体的には、議員による事業提案とプレゼンテーション、執行部との意見交換や委員同士の討議、事業の選定を行って、決議案と事業の企画書を作成し、市長に市議会の意思を表明した

都道府県	市区名	人口 段階	特色ある議会施設・運営の事例
広島県	安芸高田市	A	●防音傍聴室を備え、乳幼児同伴の傍聴者に配慮している
山口県	周南市	C	●議場のリニューアルを行った。本会議の状況をリアルタイムに市民にCATVを通じて提供するため、地上デジタル放送に対応したカメラ(映像部)及びクリアな音声を確保するためのマイクユニットの導入を図った
徳島県	鳴門市	B	●平成19年第1回定例会より、平成18年から設置していた議長を除く議員全員で構成する「予算決算特別委員会」を「予算決算常任委員会」として設置するとともに、委員会の下に「第一分科会」「第二分科会」の2つの分科会を設置した。運営については、まず、定例会開会日の散会後に委員会を開催し予算説明を受け、説明を受けた内容に対し、各会派ごとに質疑事項を理事者に通告の上、全体質疑を2日間にわたり開催し各部ごとに質疑を行う。その後分科会を開催し、さらに詳細な審査を行った上で、分科会の審査結果を委員会へ報告の後、採決を行っている。決算審査についても閉会中の継続審査と同様の運営方法により審査している。なお、全体質疑について、各部ごとの予算議案の質疑を「普通質疑」と呼び審査を行うと共に、その時点での重要施策について抜き出したテーマの質疑を「特別質疑」と呼び、別に質疑の時間を設けた上で審査している
徳島県	美馬市	A	●ケーブルテレビによる本会議ライブ中継を実施した。また、ロビーにモニターを設置した
愛媛県	新居浜市	C	●予算特別委員会及び決算特別委員会において質疑の通告制を採用
高知県	高知市	E	●議場において、木管五重奏グループの演奏会を開催(平成22年2月)
福岡県	福岡市	H	●特別傍聴席(貴賓席)を防音化し、乳幼児同伴の傍聴席に利用に供している。平成23年度にベビーベッドの設置を行う予定
福岡県	大野城市	B	●予算委員会を常任委員会として設置し、全ての会計を、補正予算も含めて審査対象としている
佐賀県	嬉野市	A	●議会広報について、議会広報編集特別委員会を設置し、「議会だより」を年4回、議員のみで編集及び発行をしている
熊本県	八代市	C	●地域イントラネット、インターネットによる本会議・委員会の生中継及び本会議の録画放映
熊本県	合志市	B	●庁舎が分庁方式のため、両庁舎ロビー等のモニターで本会議を放送している
大分県	大分市	F	●大分市議会政策研究会((仮称)子どもに関する条例)制定にむけた検討●大分市議会活性化推進会議における議会改革等に関する検討
大分県	別府市	C	●第8回べっぷ子ども市議会を開催
鹿児島県	鹿児島市	G	●質疑は、議員と当局が向かい合って行う「対面式」で行っており、平成21年第2回定例会から質疑の状況がより分かりやすいように、本会議場に質問者の前方からの映像も映し出される傍聴者用のモニターテレビを設置している
鹿児島県	薩摩川内市	C	●正副議長の選挙における演説の導入●議長交際費の公表●委員会での自由討議の導入●代表質問制の導入●特別委員会の見直し